

3. 本文の刷り上がりイメージ

2 ページ以降は本文、図表、写真を適宜組み合わせて入力して下さい。

3.1 図表

- 5 図や写真は著者・写真家・写真提供元・写真の目盛等は明瞭に分かるように大きさ等に注意して、単位系も明示して下さい。単位系は本文・図表を含め、SI単位系を基本とします。

中・小見出し（節・項）の前は改行なしで続ける。数字はArial, タイトルはゴシック、サイズ9。

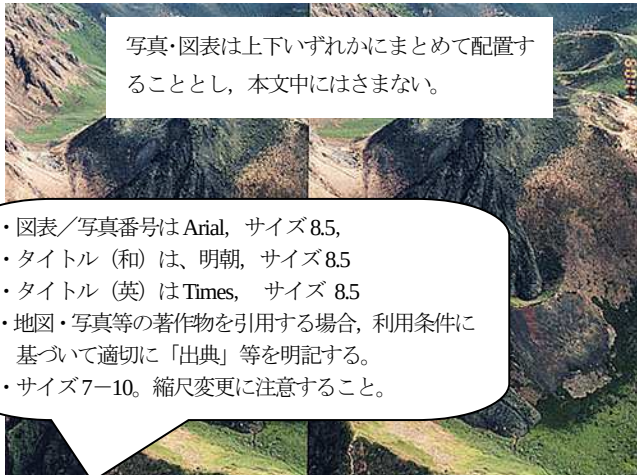


写真-1 実体視できる溶岩流のイメージ
Photo 1 Hypostatized image of lava flow

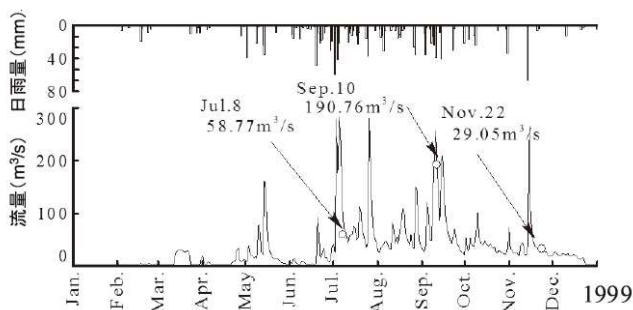


図-1 雨量と流量の関係¹⁾
Fig. 1 Relationship between rainfall and runoff

表-1 サンプル表
Table 1 Sample table

Directions	A	B	C	D	E	F	G	total
North	10	10	20	5	6	11	4	65
South	18	11	1	5	11	1	7	54
East	5	4	1	2	2	1	1	16
West	4	4	3	2	2	7	1	23

3.2 数式

数式の記入は、下のサンプルのように数式フォームを用いて下さい。1行に収まらない場合には、2行に分けて記入し、式番号は数式の直後から破線を引いて行末に示します。数式を本文中に記述する場合は、 $y = a/x$ などのように行内に収めて下さい。

$$\frac{\partial M}{\partial t} + \beta \frac{\partial}{\partial x}(uM) + \beta \frac{\partial}{\partial y}(vM) = -gh \frac{\partial H}{\partial x} - \frac{1}{\rho_T} \tau_{bx}$$

..... (1)

3.3 見出し、箇条書き、句読点

- 30 本文中には次の見出し番号を付けて下さい。
- 第1順位（章） 1. 2. 3. ...
第2順位（節） 1.1 2.2 3.3 ...
第3順位（項） 1.1.1 1.1.2 1.1.3 ...
箇条書き 1) 2) 3) ...
- 35 見出しの後には改行し、全角1字空けて本文を書き始めます。なお、第1順位（章）の前には1行空けて下さい。
- 句読点は、カンマ（,）と丸（.）を用いて下さい。なお、カッコなどには全角1字分を充てて下さい。

3.4 引用文献・参考文献

- 40 文献を引用する場合、引用文献方式と参考文献方式で形式が異なりますので注意して下さい。

3.4.1 引用文献方式の場合

本文中で例えば（菅田ら 1979）のように記述する。

- 45 日本語の場合「・, : -」等は全角、巻号頁の「[-/」等は半角。英語の場合、半角記号と半角スペースを用いる；例）「title, Vol.1, b:c」。web ページの引用の詳細は砂防学会誌執筆要領を参照して下さい。

末尾に次の形式で記載します。

- 1) 堀田紀文・厚井高志：山地からの土砂流出の変遷の実態 一流域の土砂貯留量の変化に着目して，砂防学会誌, Vol.63, No.5, p.52-61, 2011

・図表／写真番号はArial, サイズ8.5,
・タイトル（和）は、明朝, サイズ8.5
・タイトル（英）はTimes, サイズ8.5
・地図・写真等の著作物を引用する場合、利用条件に基づいて適切に「出典」等を明記する。
・サイズ7-10. 縮尺変更には注意すること。